

平成29年度事業報告

平成29年度は改正社会福祉法による社会福祉法人制度改革が施行され、社会福祉法人としての経営組織の在り方、事業運営の透明性の向上等が求められ、新役員・新評議員による組織運営をスタートした年でありました。

地域社会を取り巻く環境は、少子高齢化・核家族化に伴い、家族内の見守りや地域における繋がりが希薄化するなど相互扶助機能が低下し、福祉課題は複雑・多様化しています。

このような社会情勢のもと、本会は地域福祉の中心的な担い手としての役割を果たすため各種事業を展開し、地域福祉の更なる充実に取り組みました。

介護保険制度改革により、これまでの介護予防事業が新しい介護予防・日常生活支援総合事業として、市町村が地域の実情に応じて取り組むこととなりました。新庄市では平成29年度から実施され、もみの木訪問介護事業所では利用者への支援が円滑に進められるように制度についての理解に努めるとともに、利用者が居宅で自立した日常生活を営むことができるよう、介護サービス計画に基づき、身体介護・生活援助のサービスを実施いたしました。

もみの木介護支援事業所では、関係機関・多職種との連携を図り、利用者の心身の状況や生活環境、利用者・ご家族の希望に沿ったケアプランを作成し、可能な限り在宅で暮らすことができるよう支援いたしました。

新庄市地域包括支援センターでは、自立支援型地域ケア会議の充実や医療・介護連携、認知症施策、生活支援サービスの体制整備など「包括的支援事業」の充実に努めました。

認知症施策では、認知症の方や関心のある方が参加できる「オレンジカフェ（認知症カフェ）」を定期的に開催し、認知症の正しい知識の普及に努めました。生活支援サービスの体制整備では、「地域活動きっかけ講座」を開催し、地域の支え合い体制の仕組みづくりに努めました。

市民の皆様に対し、地域の福祉活動や本会の事業に関する情報を幅広く提供するために、ホームページをリニューアルし、迅速な情報発信を行ないました。また、本会のリーフレットを作成し、様々な機会を捉え、広報・啓発活動の推進に努めました。

老人福祉センターでは通年行なっている文化教室の他に、季節感を取り入れた教室を単発的に行ない、教養の向上及び集いの場を提供しました。

本会の事業運営を進めるにあたり、「第3期新庄市地域福祉活動計画」に照らし、組織としての点検評価を行なう「事業評価」を今年度より新たに実施いたしました。課題を抽出し、対応策を検討する作業を通じて、本会の役割を再構築し、今後の事業運営に取り組んでまいります。

最後になりましたが、平成29年11月13日に新庄市民文化会館を会場として行なわれた「第67回 山形県・県民福祉大会」をはじめ、各種事業にご支援ご協力をいただきました関係各位に感謝申し上げます、平成29年度主要事業につきまして、次のとおりご報告いたします。

【法人・地域福祉事業】

1. 役員会等運営事業

(1) 理事会の開催

◇第1回理事会	平成29年	5月29日(月)	出席理事12名 出席監事2名
◇第2回理事会	平成29年	6月16日(金)	出席理事11名 出席監事2名
◇第3回理事会	平成29年	9月26日(火)	出席理事11名 出席監事2名
◇第4回理事会	平成30年	3月20日(火)	出席理事12名 出席監事2名

(2) 評議員会の開催

◇第1回評議員会	平成29年	6月16日(金)	出席評議員16名 出席監事2名
◇第2回評議員会	平成30年	3月29日(木)	出席評議員20名

(3) 監査の開催

◇第1回監査	平成29年	5月17日(水)	出席監事2名(平成28年度分)
◇第2回監査	平成29年	11月22日(水)	出席監事2名

(4) 委員会の開催

◇老人福祉センター運営委員会	平成29年	6月20日(火)	出席委員8名
◇評議員選任・解任委員会	平成29年	7月12日(水)	出席委員5名
◇歳末たすけあい配分委員会	平成29年	12月13日(水)	出席委員8名
◇新庄市たすけあい金庫 新庄市善意銀行運営委員会	平成29年	12月13日(水)	出席委員8名
◇表彰選考委員会	平成30年	2月21日(水)	出席委員5名

(5) その他

◇会計訪問指導	平成29年	5月12日(金)	高山税理士
	平成29年	9月20日(水)	高山税理士
	平成30年	1月24日(水)	高山税理士

2. 事務局運営事業

関係機関及び団体との連携

◇第67回 山形県・県民福祉大会

平成29年11月13日(月) 新庄市民文化会館 入場者数 約950名
メインテーマ「住民が主体となり 誰もが心豊かに暮らせる 地域福祉の確立」
講演 元幼稚園教諭・保育士 又野 亜希子氏

「命の輝き ～車イスから見える世界ってけっこう素敵～」

- ・新庄市をはじめ、民生委員児童委員協議会、関係団体の皆様のご協力をいただき、成功裏に大会を終えることができました。

① 行政(新庄市)との連携

- ・社会福祉法人改革による組織体制・組織運営に関し、所轄庁としての助言・指導をいただきました。
- ・社会福祉協議会事業の情報の共有に努め、市の広報紙等に掲載協力をいただきました。

- ・社会福祉協議会運営費、老人福祉センター運営費・修繕費への補助をいただきました。
- ・地域包括支援センター運営事業、要介護認定調査、放課後児童健全育成事業、地域活動組織育成支援事業、福祉バス運行管理事業、敬老会支援事業を委託事業として実施しました。
- ・福祉サービス利用援助事業、貸付事業等の制度・サービスの運営における要援護者の支援を連携して行ないました。

②区長協議会との連携

- ・社会福祉協議会の協力員として、常に市民の先頭に立ち地域福祉・高齢福祉事業及び共同募金事業などの普及活動や啓蒙、広報紙の配布、会費・募金の徴収等幅広く協力をいただきました。

③民生委員児童委員協議会との連携

- ・社協の各種事業を進めるうえで、ニーズの把握や情報提供にご協力いただきました。
- ・生活福祉資金貸付事務事業では、低所得者世帯の更生を図るため、指導や意見、対象世帯の見守りを行なっていただきました。また、1区・2区の定例会に参加し、制度説明、情報交換を行ないました。
- ・歳末たすけあい募金の配分実施では、対象世帯の調査及び配布のご協力をいただきました。
- ・新庄市民生委員児童委員研修会へ参加し、民生委員の見守りに活用できる社協の事業の情報提供を行ないました。

④県社会福祉協議会との連携

- ・社会福祉法人改革による組織体制・組織運営に関し、助言をいただきました。
- ・生活福祉資金貸付事業・福祉サービス利用援助事業を委託事業として実施しました。
- ・社会福祉関連事業を進める上で指導、意見をいただきました。

⑤関係諸団体との連携

- ・各婦人会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協会、更生保護女性会やその他の関係諸団体と、共同募金活動、ワナゲ大会等、各事業において連携とご協力をいただきました。

(事業効果等)

各機関、団体のご指導・ご協力により、円滑な社協事業の運営が図られた。

3. 会 費

会費の納入に理解を求めるとともに、納入の便宜を図るため金融機関（新庄信用金庫・新庄市農協・もがみ中央農協）での振込を促進しました。また、6月下旬の5日間の期間、市役所内で行う各種会費等の集中受付に同席し、社協窓口を設け、納入の簡便化に努めました。

平成29年度実績額	前年度実績額	前年度比較	対前年比	振込利用件数
7,936,400円	8,023,400円	△87,400円	98.92%	15件

集中受付期間 6月19日～23日

期間中社協会費納付地区数 168町内

(課題等)

会費の納入率が低下傾向にあり、社協事業への理解・協力を求める為、行事開催度に、参加者に対して事業周知を行なうことを継続する。

4. 実習生の受入れ

専門的な知識や実践力の高い人材の育成のため、将来の福祉を担う資格取得を目指す学生等の受入れを行ないました。

(事務局)

【社会福祉援助技術実習指導の体験学習】

東北福祉大学学生 1名	受入期間	平成29年 8月7日(月)～8月10日(木)
東北公益文化大学学生 1名	受入期間	平成29年 8月7日(月)～8月10日(木) 8月16日(水)

(訪問介護事業所)

【訪問介護実習】

東北文教短期大学学生 1名	受入期間	平成29年 8月3日(木)～8月4日(金)
東北文教短期大学学生 1名	受入期間	平成29年 8月7日(月)～8月8日(火)

(介護支援事業所)

【介護支援専門員実務研修実習】

実習生 4名	受入期間	平成30年1月23日(火) 1月26日(金) 2月 7日(水)
--------	------	---------------------------------------

(地域包括支援センター)

【社会福祉相談援助実習】

社会福祉士国家資格の受験資格を取得するための専門知識・援助技術を現場での実践において主体的に学ぶものです。

東北福祉大学通信教育学部学生 1名	受入期間	平成29年 6月19日(月)～7月21日(金)
-------------------	------	----------------------------

【社会福祉援助技術実習指導の体験学習】

東北福祉大学学生 1名	受入期間	平成29年 9月19日(火)～9月22日(金)
-------------	------	----------------------------

(事業効果等)

実習の受け入れを通して、専門的人材の育成が行なわれたとともに、業務を振り返り社協事業の専門性を再確認する良い機会となった。

5. 職員研修

既に行なっている個々の専門職としての知識・技術を高めるための継続的な研修の他に、危機管理対策として職員研修を行ないました。

①防犯対策研修会

全国的に施設等に不審者が侵入する事件が相次いで起こっていることから、危機管理対策の一環として「さすまた」の使用方法和防犯の心構えについて新庄警察署生活安全課の職員

を講師に迎え、「防犯対策研修会」を開きました。

日 時：平成29年6月28日（水）11時00分～12時00分

場 所：社協2階会議室

参加人数：30名

②交通安全講習会

夕暮れ時の走行や雪道の走行のDVDを見ながら、危険な状況に対しての回避方法などを新庄警察署の職員を講師に迎え、「交通安全講習会」を開きました。

日 時：平成29年10月27日（金）13時15分～14時15分

場 所：社協3階会議室

参加人数：20名

③救急救命講習会

各事業所の相談者・利用者等が高齢の方が多いことから、緊急時に備えて心肺蘇生法とAEDの使い方について、最上広域市町村圏事務組合消防本部の職員を講師に迎え、「救急救命講習会」を開きました。

日 時：平成29年11月16日（木）13時00分～15時00分

場 所：社協3階会議室

参加人数：24名

6. 各種表彰該当者の推薦

第67回山形県・県民福祉大会

社会福祉の分野で顕著な御功績があった方に対し、その功を称え山形県及び山形県社会福祉協議会から表彰状が贈られました。なお、今回は70周年を迎えた共同募金運動推進に寄与された方々にも山形県共同募金会から表彰状が贈られました。

平成29年11月13日（月） 新庄市民文化会館

《県知事表彰》

（敬称略・順不同）

共同募金運動奉仕者 小原 芳子 加藤 香代子 奥山 嘉代子

社会福祉事業団体役職員 中部 道子 （身体障害者福祉協会役員）

《山形県社会福祉協議会会長表彰》

民生委員・児童委員功労者 奥山 仁兵衛 福井 栄子

矢口 伊和子 亀井 弘一

一般社会福祉事業関係功労者 矢口 眞澄 （身体障害者福祉協会役員）

《山形県共同募金会会長表彰》

奉仕功労者 奥山 仁兵衛 佐藤 茂安 福井 栄子

伊藤 千恵子 中山 幸子 海藤 靖彦

大場 孝代

優良地区・団体

山形県社会福祉士会最上支部

新庄市身体障害者福祉協会

7. 福祉教育の推進

高齢者や児童との関わりを通して、青少年期に支え合い意識の向上を学ぶことを目的としています。

【除雪体験】

学 校 名	実 施 日	生 徒	教 師
八向中学校	平成30年1月29日(月)	5名	7名
明倫中学校	平成30年2月4日(日)	75名	10名
新庄中学校	平成30年2月9日(金)	13名	2名
山形県立農林大学校	平成30年2月14日(水)	27名	2名

【施設体験】

①山形県教育委員会発行の「YYボランティアビューロー」を通じて、夏休み・冬休み期間等のボランティア体験を募集し、活動につなげました。

(日新放課後児童クラブ)

実施日 平成29年の夏季休暇中の11日間 神室産業高校生徒1名
平成29年9月12日(火)～9月14日(木) 新庄南高校生徒1名

(中央学童保育所)

実施日 平成29年8月7日(月)～8月8日(火) 新庄南高校生徒2名
平成29年8月9日(水)～8月10日(木) 新庄南高校生徒2名
平成29年9月9日(土) 新庄南高校生徒1名
平成29年9月12日(火) 新庄南高校生徒1名

②中学校からのボランティア体験の相談を受け、施設と連携し、活動場所のコーディネートを実施しました。

実施日 平成29年8月7日(月) 市内9施設(保育園等)

明倫中学校生徒74名

(事業効果等)

生徒が、高齢者や児童等、支援が必要な方に対して、地域で支えあう大切さを学んだ。学校側からの協力依頼が増えたことから、今後の推進体制が構築された。

8. 福祉サービス利用援助事業(山形県社会福祉協議会委託事業)

判断能力の低下により、福祉サービス利用の手続きや金銭管理等が困難な方につき、手続き・支払等の代行支援を行ないました。

最上管内利用件数 44件(前年度42件)内、新規契約締結件数 13件、解約件数 8件
平成29年度相談件数 391件(前年度451件)

〈最上管内利用件数内訳〉

	新庄	金山	鮭川	大蔵
件数	42	1	1	0

(事業効果等)

グループホーム等の入所者や精神・知的障がい者の利用者が増加している。福祉行政、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、福祉関係事業所等との連携が密に図られた効果的な支援が行なわれた。前年度に引き続き新庄市内の利用件数が過去最多となり、今後とも増加することが見込まれる。

9. 生活福祉資金貸付事業（山形県社会福祉協議会委託事業）

低所得者世帯等の経済的自立と教育支援を図るため、貸付を実施しました。滞納者に対しては、償還指導、相談援助を行ないました。

〈平成29年度貸付内訳〉

資金種類		件数	貸付金額
総合支援資金	生活支援費	1件	88,000円
	一時生活再建費	0件	0円
福祉資金	福祉費	7件	1,722,000円
	緊急小口資金	3件	190,000円
教育支援資金		5件	3,585,000円
合計		16件	5,585,000円

(事業効果等)

前年度と同様に母子世帯からの生活費や教育費の相談が多かった。福祉行政・生活自立支援センター・民生児童委員など関係機関と連携を密にして、包括的に相談支援することができた。

10. 地域活動組織育成支援事業（地域ふれあいサロン事業 市委託事業）

閉じこもりや、介護予防を目的として地域サロンの立ち上げや活動の助言等の支援を行ないました。

◇サロン活動を活性化するため、他地区サロンとの交流や意見交換の場として、「地域ふれあいサロン交流会」を実施しました。

日時：平成29年10月31日（火）9時30分～11時45分

場所：最上広域交流センター ゆめりあ

参加人数：39名（11サロン）

内容：1.レクリエーション講座「サロンで実践しよう」

2.情報交換会

講師：鈴木藤弥氏（山形県レクリエーション協会副理事長）

◇サロン活動の実施状況

	開催地区	実施回数（回）	参加人数（名）
1	仁田山	12	101
2	下金沢	9	134
3	金沢新町	24	227
4	柏木山	7	50

5	泉 田	1 2	1 7 3
6	本 合 海	2 1	1 8 8
7	老人福祉センター	1 8	1 5 0
8	あ た ご	7	7 0
9	円 満 寺	1 0	7 3
10	本 宮 一 区	1 9	3 1 9
11	桜 通 り 東	1 0	1 2 8
12	野 際	1 0	7 8
13	八 向	1 1	1 2 6
14	西 町	9	5 6
15	千 門 町	4 7	5 3 8
16	東 山	1 2	1 4 2
17	松 枝	1 1	1 2 5
18	上 西 山	1 2	1 4 4
19	下 仲 町	9	6 9
20	若 葉 中 央	1 2	7 2
21	上 仲 町	1 0	7 9
22	吉 袋	1 2	2 5 9
23	北 新 町 団 地	1 0	7 5
24	鳥 越	1 4	1 6 6
	合 計	3 2 8	3, 5 4 2

(事業効果等)

既存のサロンは自主性が高まり、活動が定着している。今年度は新規立ち上げの地区はなかったが、サロンの立ち上げに向けた相談に多く対応できた。

滝の倉、栄町、若葉東、春日町など立ち上げに向け、代表者との立ち上げに向けた協議、活動場所の調整、その他必要な支援を行なった。また、地域包括支援センターの生活支援コーディネーターと合同で「地域活動きっかけ講座」を開催し、サロンの担い手育成を行なった。

1 1. 福祉バス管理事業（市委託事業）

市の委託を受け、福祉バスの運行管理を行ないました。

利用団体	件数	社協事業	件数
老人クラブ	1 2	地域活動組織育成支援事業 (地域ふれあいサロン事業)	2 1
障がい者団体等	2 0		
民生委員児童委員	1 3		
福祉関係団体	2		
高齢者団体(スポーツ)	2		
児童関係団体	8		
行政	7		
その他	1 1		
合 計	7 5	合 計	2 1

(事業効果等)

より多くの福祉関係団体が安全に利用できるように、新庄市福祉バス運営要綱に基づき実施した。

1.2. 敬老会支援事業（市委託事業）

市の委託を受け、敬老会開催地区について開催費用の一部を助成しました。

開催地区 16地区 参加者 745人

補助金額 550,848円

(事業効果等) 助成対象経費を整理し助成することにより、敬老会の内容の充実が図られた。

1.3. 新庄市たすけあい金庫事業

低所得者に自立支援として、民生委員の調査書・連帯保証人を要件に、50,000円を限度として貸付を行なう事業です。

平成22年度以降、貸付件数がないことから、平成29年12月13日に開催した「新庄市たすけあい金庫運営委員会」にて、事業を廃止する方向で協議された。

1.4. 新庄市善意銀行事業

30,000円を限度に生活困窮者世帯に貸付を行ないました。

			平成29年度	前年度	対前年比 (%)
現年度	払出	件数	0件	0件	0
		金額	0円	0円	0
	貸付	件数	21件	33件	63.64
		金額	532,000円	790,000円	67.34
	未償還	件数	7件	20件	35.00
		金額	149,000円	365,000円	40.82
全体	未償還	件数	25件	43件	58.14
		金額	452,500円	812,500円	55.69

(事業効果等)

一時的な支出や生活費が不足し、急を要するケースにフードバンク等を活用し、迅速かつ柔軟に対応した。滞納者については、電話や訪問による償還指導を行った。生活困窮者の自立に向けた相談が多いため、生活自立支援センターもがみと連携して相談対応を行なった。

〈参考〉貸付年度別未償還件数

年度	H20	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合計
件数	1	2	1	2	3	2	1	6	7	25

◇フードバンクの提供

29年度は生活自立支援センター、行政等の関係機関と連携し、新庄市内の20世帯に食品を提供いたしました。

1.5. 放課後児童健全育成事業（市委託事業）

市の委託を受け、市内4ヶ所の学童保育所を運営しました。

中央学童保育所（堀端町） 日新放課後児童クラブ（松本）
 北辰学童保育所（北辰小学校内） 萩野放課後児童クラブ（萩野学園内）

施設	対象学区	職員数	年間開所 日数	定員	利用児童数（名）			
					年間利用者数	年度当初	年度末	1日あたり 利用人数
中央	新庄・沼田	4名	288日	60名	12,088	60	57	42
日新	日新	7名	288日	80名	15,992	79	74	56
北辰	北辰・泉田	2名	288日	25名	3,824	18	17	13
萩野	萩野	3名	288日	40名	6,209	40	31	22

（事業効果等）

気になる子どもの支援と学校の連携について市教育委員会より講師を迎え研修会を開催し、職員のスキルアップを図った。

（課題等）

中央学童保育所と日新放課後児童クラブの建物が老朽化しており、子ども達が安全に過ごせる環境を整備するため、市と協議した。修繕が必要と思われる危険箇所をとりまとめ、写真を写真を貼付し子育て推進課に報告した。

1.6. 連絡調整育成指導事業

下記の団体に補助金を交付しました。

団体名	内容等	金額（円）
新庄市戦没者遺族会	戦没者遺族者活動事業への支援 (市補助金218,000円)	218,000
新庄市民生委員児童委員協議会	調査協力費の交付	56,000
新庄市更生保護女性会	青少年非行防止等事業への助成	43,000

がついている事業は共同募金の配分金で実施している事業です。

1.7. 企画・広報・情報事業（共同募金配分金事業）

（1）広報紙「社協だより」の発行

◇第33号 平成29年 7月発行 全戸配布
 ◇第34号 平成29年11月発行 全戸配布
 ◇第35号 平成30年 3月発行 全戸配布

(事業効果等)

社会福祉協議会の事業内容や福祉情報、地域福祉活動を幅広く掲載し、市民の地域福祉活動への関心をより高めるとともに、各種情報の提供を行なうことができた。

(2) ホームページの運営

◇ホームページのリニューアル

(事業効果等)

赤い羽根共同募金より一部配分を受け、専門業者に制作を依頼し、新たにホームページを作成した。外観デザインの改善や新たなコンテンツを追加したことで、市民の皆様により多くの情報を提供できるようになった。さらにスマートフォンでも閲覧可能にしたことで、いつでもどこでも情報を得られるようになり、広報啓発を図ることができた。

(3) フェイスブックの運営

◇フェイスブックの更新

(事業効果等)

地域包括支援センターにおける研修会等の事業実施内容等を拡散性が強いフェイスブックで周知することにより、「認知症サポーター養成講座」・「自立支援型地域ケア会議」などの告知について広く情報提供することが出来た。

18. 助成金事業（共同募金配分金事業）

下記の団体との協働を図り、その活動を援助するため負担金等の助成をしました。

事業実施福祉団体	内容等	金額（円）
新庄市身体障害者福祉協会	障がい者スポーツ振興への助成	28,000
新庄市手をつなぐ育成会	レクリエーション大会参加等事業への支援	36,000
社会を明るくする会	少年犯罪・非行の防止、更生援助への支援	28,000

(事業効果等) 各団体においての事業の推進を図った。

19. 社会福祉協議会表彰等事業（共同募金配分金事業）

(1) 社会福祉協議会表彰 平成30年3月7日（金） 社会福祉協議会3階会議室
社会福祉事業に多大な貢献のあった個人・団体に対し、その功を称え表彰を行ないました。

◇ 会長表彰受賞者 3名

《民生委員児童委員功労者》

川田 宣彦

《一般社会福祉事業関係功労者》

叶内 潤 (新寿会職員)

大場 孝治 (身体障害者福祉協会役員)

◇ 会長感謝状 2名・3団体

大内 昭

阿部 幸三

新庄給食センター

おくやまストア

(有)ツルアメ

(敬称略)

(事業効果等) 顕彰により更なる研鑽・貢献が期待できる。

(2) 敬老祝い品の贈呈

長寿の方々に会長の祝詞を添え、祝い品の贈呈を行いました。

白寿対象者 21名 (男 2名 女 19名)

米寿対象者 289名 (男 83名 女 206名)

(事業効果等) 祝い品の贈呈により、長寿の方への尊敬・感謝の想いを示した。

20. 心配ごと相談事業 (共同募金配分金事業)

◇弁護士相談 新庄ひまわり基金法律事務所 神永夕貴弁護士 (10月まで)

千葉剛志弁護士 (11月から)

毎月第3週木曜日 (午後1時30分～午後4時)

◇一般相談 (社協職員対応)

平日 (午前8時30分～午後5時15分)

相談内容	弁護士相談	相談内容	一般相談
借金・多重債務	6件	生 計	37件
離 婚	12件	高齢者・介護	2件
遺言・相続	11件	障 が い	2件
近隣トラブル	3件	除 雪	13件
財産・不動産	3件	ボランティア	3件
高齢・障がい	4件	そ の 他	5件
労 働	0件		
消 費 者	2件		
苦 情	0件		
そ の 他	4件		
合 計	45件	合 計	62件

(事業効果等)

弁護士相談は、法的な対応を要する問題の解決に向けての方向性を示し、適切なアドバイスを行なっていただいた。一般相談は、生活困窮に関する相談が多く、福祉行政、生活自立支援センター・民生児童委員・山形県社協などの関係機関と連携して、迅速かつ包括的な支援を行なうことができた。

21. 援護事業 (共同募金配分金事業)

災害被災者・交通遺児への支援

- ・市環境課のご協力をいただき、小学生から高校生までの交通遺児に激励金を支給しました。
- ・市環境課のご協力をいただき、火災により、住宅全焼となった世帯に災害見舞金を支給しました。

	対象世帯	金額 (円)
災害見舞金	5	110,000
交通遺児激励金	3 (3名)	45,000

(事業効果等)

平成29年度は例年より火災が多く、5世帯に見舞金を支給した。

交通遺児激励金については、3世帯と減少傾向にあるが、激励の意を表すことができた。

2.2. 児童遊び場整備事業（共同募金配分金事業）

地域で管理している児童遊園の遊具の修繕費用や保全に必要な原材料の給付を行ないました。

	申請地区数	総事業費（円）	地元負担金（円）	交付金額（円）
遊具の修繕	1地区	58,320	5,832	52,488
		往還		
原材料支給	14地区	209,573	—	209,573
		升形下二・谷地小屋・赤坂・上西山・升形五・清水・中川原・市野々・升形上二・横根山・角沢・昭和三・往還・二枚橋		

(事業効果等)

区長と連携し、子ども達が安全に遊べるよう地域の遊び場の保全に協力できた。

2.3. 高齢者健康対策振興事業（共同募金配分金事業）

第26回会長杯ワナゲ大会

平成29年7月6日（水） 新庄市体育館

参加者総数 300名 : 参加チーム数 47チーム

	団体の部	個人の部	
		男子	女子
優勝	新松会A	渡部 明 (吉祥クラブB)	正野 幸子 (駅前きららクラブ)
準優勝	桧町A	山科 浩 (上茶屋町茶遊会A)	矢作 昌子 (新松会A)
第3位	上茶屋町茶遊会A	森 佐久美 (新松会A)	早坂 輝子 (二枚橋寿会)

(敬称略)

(事業効果等)

事業が定着し、高齢者の健康増進、いきがい・仲間づくりに貢献することができた。市健康課の健康講話、展示ブースによる健康推進、新庄警察署の特殊詐欺防止の取組みと連携し、山形新聞などのメディアを通じてワナゲ大会と新庄市社会福祉協議会を広く周知することができた。

2.4. 愛のひと声運動事業（共同募金配分金事業）

一人暮らし高齢者などに乳酸飲料を配達し、ひと声かけることで安否確認を行ないました。

配達日 毎週月・水・金曜日

利用者 36名 延回数 3,959回 (平成30年3月31日現在)

(事業効果等)

外出の機会や地域との交流が少ない一人暮らし高齢者の安否確認として、大いに機能した。
ヤクルト配達員やケアマネジャー等と連携し、見守りを行なうことができた。平成29年度は申請が多く、前年度より利用者が9名増加した。

25. 給食サービス事業（共同募金配分金事業）

市内3業者の協力により、一人暮らし高齢者世帯等へ月2回弁当配達を行ないました。

配達日 毎月第2・第4金曜日

利用者数 11名 配食数 266食 (平成30年3月31日現在)

配達業者 新庄給食センター・ツルアメ・おくやまストア

(事業効果等)

利用者の減少、他業者で同等のサービスが提供できることから、平成30年3月31日付で本事業を廃止した。

26. 高齢者世帯等除雪支援事業（共同募金配分金事業）

- ・高齢者等の除雪に対する相談に応じ、適切なサービスに結びました。
- ・企業、学校等と連携を図りながら、高齢者世帯の自宅の除雪を実施しました。

対象世帯 21世帯（実施回数 25回）参加者延べ276名

協力企業・学校 (株)柿崎工務所、郵便局長会最上北部会、山形県立農林大学校
新庄中学校、東北電力(株)、新庄青年会議所、明倫中学校
八向中学校

(順不同・敬称略)

外 個人ボランティア2名

(事業効果等)

他から作業的・金銭的支援が受けられない高齢者世帯等の除雪に対する不安が解消された。今年度は例年より積雪量が多く、ボランティア活動が広がった。

27. ボランティア活動推進事業（共同募金配分金事業）

- ・ボランティアセンターとして、情報提供や活動場所との調整を行ないました。
- ・ボランティア活動保険の加入業務を行ない、ボランティア団体の把握に努めました。
- ・ボランティアに関する研修会を実施し、ボランティアの育成を行ないました。

(1) ボランティアレクリエーション講座（習得編）

開催日時：平成29年6月7日（水）13時30分～15時30分

場 所：新庄市民プラザ3階第5・6研修室

参加人数：18名

内 容：講義：「気軽に楽しめるレクリエーションを学ぼう！」

講 師：山形県レクリエーション協会

- ・施設等で楽しめるレクリエーションを学ぶことができました。

ボランティアレクリエーション講座（実践編）

開催日時：平成29年6月14日（水）14時～15時

場 所：介護老人保健施設エーデルワイス

参加人数：15名

内 容：①施設でのボランティアについて

②レクリエーションを学ぼう

- ・実践編として施設を利用されている方々に学んだレクリエーションを披露することができ、大変貴重な体験をすることができました。

(2) 傾聴ボランティア講座

開催日時：平成30年3月13日（火）13時30分～15時30分

場 所：最上広域交流センターゆめりあ2階会議室

参加人数：32名

講 義：「聴くこと それだけで 援助になる」 中級編

講 師：庄内傾聴塾 指導者 梅津幸士 氏

- ・話を聴いてほしい方の話し相手となり、心のケアや孤独感の軽減を支援する傾聴ボランティアの養成を目的に、傾聴技術の向上を図りました。今回は実践を交えながらの講義で、多くの方が有意義な内容を学ぶことができました。

(3) 地域活動きっかけ講座（座学編）

開催日時：平成30年2月20日（火）9時30分～15時

場 所：新庄市社会福祉協議会

参加人数：16名

講 義：ボランティアの心得と意義

講 師：新庄市社会福祉協議会職員

- ・地域活動の担い手（ボランティア等）を育成する講座に講師役として参加し、ボランティアの基本原則や心構えなど、ボランティアの基本についての講義を行ないました。

(4) ボランティア団体、個人、ボランティアとの協働

- ・理美容ボランティア「チョコボラ」の利用支援・ボランティアとの連携

平成30年3月31日現在 利用者数27名


- ・傾聴ボランティア：新庄薬師園・エーデルワイスのご協力により、話をする機会の少ない方を対象に傾聴を実施しました。

実施場所・回数：新庄薬師園・エーデルワイス（それぞれ9回）

個人宅2件

ボランティア14名

- ・大工ボランティア：新庄建築大工組合のご協力により、低所得高齢者6世帯の老朽化した家屋の軽微な修繕を実施しました。

28.  元気・ハツラツ予防体操事業（共同募金 地域福祉・在宅福祉事業配分）

前年度に引き続き老人福祉センターと社会福祉協議会の2階を実施場所として事業を行ないました。高齢者の方々の生きがいを見つけ、いつまでも自分らしく健康で生活ができるように、運動機能の向上を目的として行なう予防体操です。

開催日時・場所：①毎月第1金曜日 13時～14時 社会福祉協議会2階

②毎月第3金曜日 13時～14時 老人福祉センター第1会議室

参加人数：463名

実施回数：19回

講師：公益社団法人山形県柔道整復師会

植木 俊和 氏（植木整骨院）

早坂 耐希 氏（早坂整骨院）

加藤 修 氏（かとう整骨院）

（事業効果等）

継続的に参加することにより、顔見知りが増え、健康増進のほか生きがいがいづくりにも繋げることができた。

【老人福祉センター運営事業】

1. 老人福祉センター施設管理事業

高齢者のふれあい、生きがいがいづくりの場として、より多くの方々にご利用いただけるよう運営に努めました。

 老人福祉センターまつり（ふれあいセンター）

実施日：平成29年10月20日（金）・21日（土）の2日間

入場者数：270名

◇避難訓練の実施

利用者の方々が非常時において速やかに行動し避難できるよう、出火場所を想定し、避難警報ベルによるセンター利用者の避難誘導、消防本部への通報訓練を実施しました。

実施日：平成30年3月5日（月）

参加者：老人福祉センター利用者 18名

内容：①利用者の避難誘導
②消防本部への通報訓練
③消火器取扱い訓練

(1) 老人福祉センター利用状況

		平成29年度	前年度	対前年比 (%)
開館日数		301 日	303 日	99.34
利用者	延べ人数	13,250 人	12,249 人	108.17
	団体数	1,399 団体	1,420 団体	98.52
	1日の平均利用者数	44.0 人	40.4 人	108.91

(2) 文化教室別利用状況（社協主催事業 共同募金配分事業）

文化教室種類	平成29年度 (人)	前年度 (人)	対前年比 (%)
いけ花教室	129	128	100.78
手づくり教室	—	169	—
絵手紙教室	94	73	128.77
合計	223	370	60.27

手づくり教室は28年度で終了し、愛好会として継続しております。いけ花教室は29年度より流派を変え、新たな講師の方を迎えて実施しました。

(3) 季節の教室

新たに四季折々の季節感を取り入れた講座を行ないました。

① 笹まきづくり講座

現在も作り継がれている笹まき（新庄巻）づくりを行ない、参加者の方々に大変喜ばれました。

実施日：平成29年6月27日（火）13時～15時

参加者：14名

② 陶芸教室

新庄東山焼の作品を、夏休み中のお孫さんと一緒に作る教室を実施しました。

実施日：平成29年7月28日（金）10時～12時

参加者：12名

③ しめ飾り講座

手づくりのオリジナルしめ飾りで新年を迎えられると喜ばれました。

実施日：平成29年12月14日（木）13時30分～15時

参加者：15名

(4) カラオケルーム利用状況

定期的に利用者の皆様に最新の曲が提供できる環境で、利用者の皆様に喜んでいただいております。

	平成29年度	前年度	対前年比 (%)
利用件数	351 件	347 件	101.15
利用人数	2,380 人	2,339 人	101.75

2. 老人福祉センター施設整備事業

1階和室エアコン修繕費 100,116円 ((有) マルゲン電機商会)

暖房用ボイラー交換更新修繕 1,458,000円 (日本衛生工事(株)新庄営業所)

(事業効果等)

老人福祉センターの安全性及び利便性を考慮し、修繕を行なった。

各部屋の利用について、夏・冬、快適に過ごすことができた。

【共同募金事業】

山形県共同募金会新庄市支会と連携し、区長をはじめ多くの市民・団体等のご協力を得て募金活動を推進しました。

1. 赤い羽根共同募金

〈募金内訳〉

	平成29年度 (円)	前年度 (円)	対前年比 (%)
戸別募金 (町内)	4,013,500	3,960,400	101.34
企業募金 (会社・商店545、個人4)	1,891,527	1,773,812	106.64
街頭募金 (11団体)	163,448	122,837	133.06
学校募金 (市内14校)	128,642	216,491	59.42
職場募金 (8事業所)	112,142	61,384	182.69
篤志募金 (市民有志等)	159,523	156,134	102.17
合計	6,468,782	6,291,058	102.83

※企業募金にご協力いただきました会社・商店については、平成30年3月発行の「社協だより」第35号に掲載しております。

〈配分内容〉

配分先	すぎのこハウス、かねやまハウス、なかよし放課後児童クラブ、にこにこ城南放課後児童クラブ、新庄幼稚園ジュニアクラブ、新庄市社会福祉協議会、中央学童保育所、萩野放課後児童クラブ
配分事業	老人福祉センター文化教室、愛のひと声運動事業、給食サービス事業、高齢者世帯除雪支援事業、助成金事業、児童遊び場整備事業、社会福祉協議会会長表彰、白寿・米寿祝い品贈呈、心配ごと相談事業、援護事業、ボランティア活動推進事業、ワナゲ大会の開催、広報紙の発行、ホームページの運営等

(事業効果等) 募金の配分金を福祉施設の整備や地域福祉事業に活用し、地域への還元を図った。

〈参考〉

街頭募金協力団体	日新学区婦人会、沼田学区婦人会、新庄市身体障害者福祉協会、新庄市更生保護女性会、山形県社会福祉士会最上支部、新庄市交通安全母の会、日新中学校、明倫中学校、日新中学校、はぐくみキッズ放課後クラブ、やよい歌謡愛好会
街頭募金活動場所 活動場所提供協力	ヨークベニマル新庄店、ヨークベニマル新庄市下田店、ヤマザワ新庄店、ヤマザワ新庄宮内店、マックスバリュ新庄店、ビッグフレック新庄店、郷野目ストア中央店、郷野目ストア桧町店、新庄徳洲会病院
学校募金協力校	新庄小学校、沼田小学校、日新小学校、北辰小学校、升形小学校、萩野学園、新庄中学校、明倫中学校、八向中学校、新庄北高等学校、新庄南高等学校、新庄神室産業高等学校、新庄養護学校、農林大学校
職場募金 (募金協力)	新庄市役所、最上広域市町村圏事務組合、最上地区広域連合、新庄市体育協会、シルバー人材センター、新庄市社会福祉協議会親睦会
職場募金 (募金箱設置協力)	新庄市役所市民相談室、もがみ物産館、よつば調剤薬局、セブンイレブン新庄新町店、新庄市老人福祉センター、新庄商工会議所、新庄市社会福祉協議会
篤志募金	石山宣助、門脇茂、小関俊也、鈴木幹男、菅原富喜、佐藤均、新庄市職員労働組合、老人福祉センターサロン、老人福祉センターまつり会場、外匿名5名

(順不同・敬称略)

2. 歳末たすけあい募金

(1) 募金活動

〈募金内訳〉

	平成29年度(円)	前年度(円)	対前年比(%)
戸別募金(町内)	2,011,100	1,986,700	101.23
篤志募金(市民有志等)	13,295	11,661	114.01
合計	2,024,395	1,998,361	101.30

篤志募金協力： 大手幼稚園 外匿名1名 (敬称略)

(2) 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として、市民の皆様からお預かりした歳末たすけあい募金について、新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人達が安心して暮らせるよう配分委員会を開催し、効果的に配分しました。

〈配分内訳〉

世帯区分	対象世帯数(世帯)	配分金額(円)
準生活保護世帯	6	90,000
寝たきり高齢者介護世帯	3	45,000
母子・父子世帯	17	255,000
一人暮らし高齢者世帯	35	525,000
高齢者夫婦世帯	3	45,000
障がい者世帯	8	120,000
入院・療養者世帯	6	90,000
その他困窮世帯	8	120,000
合計	86	1,290,000

・配分額 現金15,000円×86世帯=1,290,000円

白米：600Kg (60袋)

・地域福祉活動費として674,395円 共同募金会新庄市支会事務費として60,000円

(事業効果等)

配分金は民生委員児童委員の協力を得て、効率的に調査・配分することができた。白米は、谷地小屋の故太田進氏のご遺族である太田義次氏より寄贈していただいた。

【介護等支援事業】

1. 介護支援事業 (もみの木介護支援事業所)

介護支援専門員 5名

利用者や家族の相談に応じ、医療機関や他事業所との連携を図りながら、効果的なケアプランの作成と利用者の利便性向上に努めました。

		平成29年度	前年度	対前年比(%)
介護支援事業	件数	1,634件	1,747件	93.53
	収入	25,582,380円	27,431,900円	93.26

要介護認定調査	件数	137件	156件	87.82
	収入	440,640円	505,440円	87.18
介護予防ケアプラン	件数	338件	364件	92.86
	収入	1,451,520円	1,120,320円	129.56
合計	件数	2,109件	2,267件	93.03
	収入	27,474,540円	29,057,660円	94.55

(課題等)

平成29年度も例年通り新規の相談がありましたが、介護保険施設やグループホームへの入所、小規模多機能型居宅介護への紹介が多く、件数・収入ともに減少しています。

平成30年4月からの介護保険制度改正では、入退院時の連携加算の見直しや、ターミナルケアマネジメント加算の新設など医療との連携強化が求められています。今後も積極的に困難ケースへの対応をし、安心して在宅で介護ができるように支援していきます。

2. 訪問介護事業（もみの木訪問介護事業所）
- | | |
|-----------|-----|
| 介護福祉士 | 9名 |
| ホームヘルパー2級 | 15名 |
- (平成30年3月31日現在)

利用者の状況を把握し、利用者の必要な支援は何なのかを見極め、関係機関との連携をとりながら支援に努めました。

		平成29年度	前年度	対前年比(%)
訪問介護事業	件数	939件	997件	94.18
	収入	46,028,618円	48,393,374円	95.11
高齢者在宅生活支援事業 (前年度で終了)	件数	— 件	7件	—
	収入	— 円	150,000円	—
障害者自立支援事業	件数	116件	114件	101.75
	収入	7,559,330円	7,320,460円	103.26
ひまわり介護サービス事業 (福祉有償運送含む)	件数	80件	118件	67.80
	収入	483,715円	774,630円	62.44
合計	件数	1,135件	1,236件	91.83
	収入	54,071,663円	56,638,464円	95.47

(課題等)

- 平成30年4月から介護予防が総合事業に完全移行します。訪問介護事業の利用者のうち4割近くが訪問型サービスAを利用しており、単価がこれまでの予防事業の8割となっているため、介護予防収入の低下に繋がっています。
- 訪問介護の基本に立ち返って、高齢者や障がい者の在宅生活を心身ともに支えていくことを目指し、それを支える従事者の資質向上のために研修を充実させます。
- 介護員の退職や、介護員の高齢化が進んでいることから、人材確保に力を入れる必要があります。介護員の募集については、ハローワーク・山形県福祉人材センター・社協広報紙を通して継続して行なっていきます。

【地域包括支援センター運営事業】

1. 地域包括支援センター事業

主任介護支援専門員 2名 ・ 保健師 2名
 社会福祉士 2名 ・ 認知症地域支援推進員 1名
 生活支援コーディネーター 1名 ・ 介護支援専門員 1名
 事務補助員 1名

		平成29年度	前年度	対前年比 (%)
相談事業	総合相談	7,574件	6,830件	110.89
	内介護相談	3,700件	4,704件	78.66

①認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る認知症サポーターを養成しました。

場 所：新庄市社会福祉協議会、やすらぎトウメキ

開催回数：5回（新庄市社会福祉協議会4回、やすらぎトウメキ1回）

サポーター養成人数：117名

②オレンジカフェ（認知症カフェ）

気軽な雰囲気の中で認知症について学んだり、認知症を話題に交流できる場所であるオレンジカフェを開催しました。

場 所：ひと休み いっぷく

開催回数：11回

参加人数：152名

③地域活動きっかけ講座

地域の担い手（サロン活動の世話人やボランティア等）を養成し、住民の地域福祉活動の促進を図りました。

（1）座学編（地域福祉講座）

開催日：平成30年2月20日（火）

（2）実践編（地域活動の企画・グループワーク等）

開催日：平成30年2月27日（火）

場 所：新庄市社会福祉協議会 参加人数：各16名

④いきいき百歳体操

高齢者の社会参加と介護予防を目的とした「通いの場」を地域に立ち上げました。

開催場所	開催日（曜日）	開催回数（回）	参加延べ人数（名）
老人福祉センター	毎週 月・木	98	約1,955
新庄市体育館	毎週 月・木	86	約941
千門町公民館	毎週 火	37	約376
上茶屋町公民館	毎週 水	39	約683

⑤自立支援型新庄市地域ケア会議スキルアップ研修会

自立支援に資するケアマネジメントとサービス提供の過程において、口腔機能に関するアセスメント、口腔機能向上のための手法等について、統一した理解を促進することを目的に、介護支援専門員、サービス提供事業所等を対象とした研修会を開催しました。

開催日時：平成30年3月14日（水）

場 所：最上広域交流センターゆめりあ会議室

参加人数：31名

講 義：「健康長寿を支える口づくり」

講 師：山形県歯科衛生士会 歯科衛生士 古瀬順子氏 笹木桂子氏

(事業効果等)

当地域包括支援センターは、相談窓口で相談者が安心していただけるよう適切な支援や関係機関へ繋ぐなどの対応をしております。

市との共催で高齢者が安心して元気に地域で暮らすことを目指した自立支援型地域ケア会議を毎月開催し、ケアマネジャーの自立支援の理念の再確認と、自立支援に資するケアプランの作成への理解をいただいております。更にケアマネジャーの資質向上を目的とした介護支援専門員資質向上連絡会を定期開催し、検討会や専門職からの講話、情報共有などを通して日々のケアマネジメント業務のスキルアップ、自己研鑽を図りました。

認知症地域支援推進事業では、認知症の方やその家族への支援、医療機関・関係機関との連携体制づくりを行ないました。地域の方々に認知症を正しく理解し認知症の人や家族を温かく見守る応援者になっていただく「認知症サポーター養成講座」を29年度は5回開催しています。

生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進する生活支援コーディネーター事業では、高齢者の関わる地域資源開発や多様な受け皿確保のための基盤整備を進めています。老人福祉センターで始まった「いきいき百歳体操」も開催地域が広がり、各地で高齢者が介護予防を楽しみながらでき、生き甲斐や健康増進に繋がる効果を得ています。

2. 介護予防支援事業（もみの木介護予防支援事業所）

介護予防ケアマネジメント	平成29年度	前年度	対前年比 (%)
総 件 数	4,515件	4,319件	104.54
内センター作成分	1,618件	1,221件	132.51
委 託 件 数	2,897件	3,098件	93.51
収 入 金 額	20,072,600円	19,109,800円	105.04
委託費支出金額	11,604,670円	12,374,370円	93.78

(事業効果等)

新庄市における高齢化率の上昇に伴い、介護保険サービスの利用者が増加する傾向にあります。特に運動に特化したサービスの利用を希望している方が多く、健康寿命を意識した結果に繋がり、介護予防プラン作成件数の増加に反映されています。また、介護予防プランの作成については約3分の2を居宅介護支援事業所へ委託し、利用者の自立支援に資するケアプランが適正に作成されるようプランの確認を行なっています。